



Hear the fervent breaths of the people.  
The fiery winds of the soul blow across the land and flames.

犹如人们的炽热呼吸阵阵传来。  
注入灵魂的热风吹过大地和火焰之上。

사람들의 뜨거운 숨결이 들린다.  
대지와 불꽃 위로 영혼의 열풍이 지나간다.



ようへんらくがんみずさし  
窯変落雁水指

虫明焼の形態が確立されたのは、江戸時代中期。岡山藩主池田家の家老伊木家6代目忠興が、お庭窯として焼かせた京焼系の施釉陶器がはじまりです。薄作りで洗練された造形美に加えて、釉調の美しさが優雅で気品にあふれた焼き物です。

## 虫明焼

です。

一つで、現在では、虫明焼作陶会の皆さんが伝統を受け継ぎ、作陶活動に励んでいます。



県指定重要文化財  
まくさくなんけいししたそめつけてつけたる  
真葛作桶溪下絵染付手付樽



黒井千左さん(邑久町虫明)  
岡山県指定重要無形文化財虫明焼制作技術の保持者。日本  
伝統工芸展などで数々の受賞歴を持つ虫明焼作家の人。

### ミコラム 虫明焼の魅力

長い歴史によって築かれ受け継がれた虫明焼の伝統は、それだけの重みと魅力があり、その落ち着いた渋味と風格のある釉調は大変魅力的です。虫明焼は、地元はもちろんのこと、県外、特に茶道界では全国的に魅力のある焼き物として人気があります。安らぎのある、あきのこない色調は、見れば見るほど愛着を感じてきます。



1,300度の高熱と職人が打ちのばす圧力で、玉鋼から不純物を取り除き刀を鍛えます。

### 刀匠



柄巻  
柄を酸皮で包み、正絹の組紐などで巻き上げ、柄を補強します。

白銀  
刀身に合わせて銅(または金、銀)を鍛えて形作り、装飾を施します。

研  
数種の砥石を使い分けて研ぎ進め、刀の切れ味と輝きを高めます。

塗  
漆を塗っては研ぐ工程を何度も繰り返して、鞘に美しく強度を持たせます。

鞘  
刀身に合わせて朴(ほ)の木を切り出し、鑿(のみ)で削り上げます。



備前おさふね刀剣の里  
備前長船刀剣博物館では「備前長船」をはじめとした名刀を常時展示。鍛冶場、工房では刀匠・塗師などの作業の様子も見学できる。

今日でも長船では、刀匠や研師たちが日々伝統に磨きをかけています。

この刀剣の聖地は、吉井川の氾濫によって大打撃を受けたながらも、日本刀製作の憧憬の地としてその神聖性を後世に伝えました。

「福岡」などの作刀地があり、名匠の作った刀は各時代の名将に愛され大切にされてきました。さらにそれらの多くが国宝、重要文化財に指定されています。

この刀剣の聖地は、吉井川の氾濫によって大打撃を受けたながらも、日本刀製作の憧憬の地としてその神聖性を後世に伝えました。

今日でも長船では、刀匠や研師たちが日々伝統に磨きをかけています。

平安時代に始まる備前長船の刀剣づくり。山陽道が吉井川と交差する長船に上流から鉄が運ばれ、世界的にも高度な技術と美を誇る刀剣が作られ、室町時代末期にかけて拔群の技術力と生産量を誇りました。当時のまちは「長船」や「福岡」などの作刀地があり、名匠の作った刀は各時代の名将に愛され大切にされてきました。さらにそれらの多くが国宝、重要文化財に指定されています。

## 備前長船刀剣

世界に冠たる  
刀剣のブランド

人々の熱い息づかいが聞こえてくる。大地と炎の上に魂の熱風が吹き抜けていく。

# 瀬戸内浪漫



세토우치의 낭만  
헤이안시대에 시작된 비젠 오사후네의 도검 만들기. 산요도가 요시이가와 강과 교차하는 오사후네로 상류로부터 철이 운반되어 세계적으로 수준 높은 기술과 미를 자랑하는 도검이 만들어졌고, 무로마치시대 말기에는 발군의 기술력과 생산량을 자랑했습니다. 지금도 오사후네에서는 도검 장인과 연마자들이 연일 전통을 갈고 닦고 있습니다. 무시야케 도자기의 형태가 확립된 것은 에도시대 중기. 오카야마번 번주 이케다가의 가신 이기가의 6대 다다오키가 정원가마로서 급게 한 교토 도자기 계열의 유약 도기가 그 시초입니다. 얇고 세련된 조형미와 함께 유약의 아름다움이 우아하고 기품 있는 도자기입니다.

瀬戸内の浪漫  
备前长船的刀剣制作起源于平安时代。人们从上游将铁运到山阳道和吉井川交错交汇的长船，打造出以高超的技术和精美度而著称于世的刀剑，直到室町时代末期都是以其超群的技术和生产量为自豪的。在今天的长船，刀匠和研磨师们仍在这一传统中继承和磨砺。虫明烧陶器的形态确立于江户时代中期。起源于岡山藩主池田家的家臣之长伊木家第6代忠兴令人作为庭窑而烧制的京烧系施釉陶器。是一种壁薄且造型精美、釉调高雅的陶器。

Romance of Setouchi  
Swordsmithing of Bizen Osafune began in the Heian period. Steel was transported from upstream to Osafune where San'yodo crosses with Yoshii River to produce swords of globally renowned sophistication and beauty, and the region boasted outstanding swordsmithing skills and output up to the end of Muromachi period. Even today, swordsmiths and sword-polishers are keeping up the tradition on a daily basis. The form of Mushiyaki ware was established in mid Edo period. It originates from a Kyoto ware-style glazed ware, which Tadaoki Igi, the chief retainer of the Ikeda Clan of the Okayama Domain, had made in his garden kiln. It is a beautifully blazed pottery of elegance and grace, as well as delicate and sophisticated from.



- A 備前おさふね刀剣の里
- B 中央公民館
- C 邑久郷土資料館
- D 瀬戸内市立美術館

たち たいしほ  
国宝 太刀 銘 吉房 (東京国立博物館 所蔵)  
福岡一文字派の吉房による太刀で鎌倉時代の作。豊田秀吉が所持した後、竹腰正信が拝領して、同家に相伝しました。昭和30(1955)年、国宝に指定。